

## 第2期仁淀川地域アクションプランの進捗状況等について

H24.8.24

仁淀川地域本部

## 1 地域アクションプランの第1四半期の実施状況（総括）

## (1) 総評

全38プランについて、実行支援チームを編成、事業推進にあたっての支援と進捗管理を実施し、地域アクションプランに掲げた目標の達成に向け取り組んでいる。

全体としては、計画どおりの進捗を見ており、事業計画が固まったものは、順次、支援事業を導入し具体の事業実施に取り組んでいる。

特に観光に関しては、24年度は、昨年度NHKでの仁淀川を舞台にしたドラマや特集番組の放送や国土交通省の水質調査で仁淀川が全国1位になった追い風もあり、ゴールデンウィークの主要観光施設への入込客数が前年比で増加しているほか、ツアー造成の実績数も順調に増加している。

この追い風を生かし、地域内の観光資源の一層のブラッシュアップを図るとともに、県の観光振興施策とも連携して県内外へPRを行い、仁淀川地域への誘客につなげる。

## (2) 具体的な動き

## ① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p><b>地域の特徴を活かした多様な農業の展開</b></p> <p>■No.3 薬用作物の産地拡大による所得の向上 (仁淀川町、佐川町、越知町、日高村)</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農事組合法人ヒューマンライフ土佐が中心となった薬用作物の栽培拡大への取組</li> </ul> <p>ミササコ作付面積 H21 (38.9ha) → H23 (48ha)            サンショウ作付面積 H21 (25.6ha) → H23 (62ha)</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栽培者の拡大については、ヒューマンライフ土佐の関係者によるロコミ等によるところが大きく、その範囲が限られる。</li> </ul> <p>⇒農業部門を始めとする関係部局と連携した取組を進める。</p>
<p>■No.4 力強い高糖度トマト産地の確立 (仁淀川町、佐川町、日高村)</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栽培管理指導による栽培技術向上やトマトの目慣らし会、産地コンセプト検討会の開催</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安定的な生産体制の確立と差別化による販売戦略の展開が重要である。</li> </ul> <p>⇒引き続き栽培技術の向上や産地コンセプト検討会の取組を進める。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p><b>「森の工場」などによる木材の増産体制の確立</b></p> <p>■No. 13 仁淀川流域における木材産業の振興 (仁淀川地域全域)</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業説明会を開催し、新たな補助制度の周知を徹底</li> <li>・ 増産に取り組む森の工場事業体の把握 (事業体数 8 社)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後増産体制づくりを的確に進める必要がある。 ⇒森の工場事業体の増産能力や体制づくりの具体的な進捗状況を把握するなど、事業体と情報共有を図りながら取組みを進める。</li> </ul>
<p><b>「宇佐のうるめ」の消費拡大</b></p> <p>■No. 15 うるめのブランド化 (土佐市)</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 1 四半期の売上が、目標 7,500 千円に対し 7,656 千円</li> <li>・ 土佐市内の飲食店が参加し、うるめを活用したメニューを提供する「一本釣りうるめ祭り」を開催</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間売上目標 40,000 千円の達成に向けて販路拡大が課題 ⇒見本市の出店等による販路拡大を目指す。</li> <li>・ 取引先から、個人向け商品の品ぞろえを増やせないかとの要望が多い。 ⇒新たな加工品の開発を検討する。</li> </ul>
<p><b>「土佐和紙」の販売の促進</b></p> <p>■No. 16 「土佐和紙」の販売促進と保存・継承 (土佐市、いの町)</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙すき体験で、紙の博物館と土佐和紙工芸村で分担して受け入れを実施 (城西館から要請があった企業研修ツアー182名を 6 月 4 日に受入)</li> <li>・ いの町で土佐和紙の魅力向上スタッフを新規雇用</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土佐和紙の伝統や工芸品としての魅力を PR する支援にとどまっているため、製紙業全般についての支援が不十分である。 ⇒紙産業技術センターや商工会等のネットワークの力を借りて、まずは事業者と地域本部との関係づくりを行う。</li> <li>・ 和紙の加工品は、商品アイテムも増え好評の商品もあるが、より多くの利益をあげるための工夫が必要 ⇒コストダウンの検討を行う。</li> <li>・ 手すき和紙職人の高齢化が進んでおり、後継者育成が課題 ⇒今後は市町村や手すき和紙協同組合等と協議し、後継者育成の仕組み作りを検討する。</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>「奇跡の清流仁淀川」ブランドによる体験型観光などの推進による交流人口の拡大と食観光・物産販売など観光の産業化の推進</p> <p>■No. 25 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進（仁淀川地域全域）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仁淀川地域観光協議会の旅行会社への売り込みによるツアー造成は昨年度に比べて大きく実績数を伸ばしている。</li> <li>・屋形船の運航（日高村）や、河原でのバーベキューサービス（いの町）など新たな体験メニューも開始された。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツアーの造成が進むことによって、現地でのアテンドや営業に向けた仁淀川地域観光協議会の人役が徐々に不足してきている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒関係市町村等と連携を図りながらサポートに努める。</li> </ul> </li> <li>・県版ふるさと雇用事業を活用しているが、3年後の財源確保が課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒市町村の財政負担について今後協議を行う。</li> </ul> </li> <li>・ツアーの造成は順調に推移しているが、長期的に安定した誘客を行うためには、常に旅行会社やお客様に注目してもらえる楽しみ方の提案が欠かせない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒研修会等を通じて市町村や観光施設の担当者の意識の醸成を図る。</li> </ul> </li> </ul>

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 7 土佐文旦の加工（土佐市）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H23年度に産振補助金（ステップアップ事業）を活用して開発した文旦飲料がH24年1月～3月にANA国内線機内販売に採用され、文旦の知名度が高まった。</li> <li>・菊水酒造(株)では文旦果汁の取扱量を増やすため、新たな商品を開発した。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文旦飲料については、清涼飲料としては高価格帯の商品であり、今後はターゲットを絞った販促活動が必要 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒県外の見本市等に積極的に出店し、高級量販店等との取引を目指す。</li> </ul> </li> <li>・文旦果汁の取扱量を増やすためには、県外の加工事業者への売り込みも必要 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒今後は県外の加工事業者との商談も積極的に進める。</li> </ul> </li> </ul>

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 8 生姜の加工（生姜出荷施設整備事業） （土佐市）</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県産振補助金により新たな加工工場が整備され、生産体制が強化された。</li> <li>・加工品販売拡大のため、新たな商品（生姜漬物、生姜の菓子）を開発中</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産量拡大に向けて、原材料である生姜の確保が課題 ⇒生産農家と作付面積等について協議を行う。</li> <li>・加工品売上の増のため新たな販路拡大が課題 ⇒通販を活用するとともに、全国各地の商談会に積極的に参加する。</li> </ul>
<p>■No. 11 本川きじの販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品開発（いの町）</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興センターと販路拡大・新商品開発に関する協議を行い、8月からアドバイザー制度を活用し専門家を派遣することになった</li> <li>・ゆうパック（秋冬ギフト）に、「きじ肉スライスセット」が採用決定</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状では売上が冬季に集中しているため、年間を通して販売できる商品開発が課題 ⇒今後は高級量販店をターゲットとした新商品の開発を行う予定</li> <li>・安定した生産体制の構築が必要 ⇒孵卵率・飼育状況の把握と改善のため、県中央家畜保健衛生所と連携して指導を行う。</li> </ul>
<p>■No. 17 高岡日曜市の活性化などによる地域商業の振興（土佐市）</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高岡商店街活性化のための集客施設の整備について、H23年度に基本計画をとりまとめ、産振補助金を申請 ⇒7月23日審査会、8月1日採択決定</li> </ul>

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 19 地域産品を活用した冷菓等の製造販売 (いの町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販路拡大を目指し、海外(シンガポール、香港、アメリカ)での商談会等に積極的に参加</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・増産に対応するため、新たな設備投資(水道設備等)が必要 ⇒産振補助金の申請を検討中</li> </ul>
<p>■No. 20(株)フードプランを中心とした農山村6次産業化の推進 (仁淀川町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・量販店の産直市への野菜集荷を開始(4月～)</li> <li>・施設規模拡大に向けた農業系支援策の情報を収集</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設でのカット野菜の生産能力が限界に達しており、生産規模の拡大を検討中であるが、投資規模が大きくなることが予想され、財源手当てが課題となる。 ⇒財源となる支援事業のマッチングを検討中</li> </ul>
<p>■No. 21 売れる商品づくりによる地産外商の推進 (佐川町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・量販店での販促活動(牛乳、地乳プリン、地乳パン等)を実施(5/13 香川県高松市) (「地乳」に対する県外消費者の反応は良好)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地乳の安定供給が課題 ⇒販売促進の成果を確認しながら効率的な操業を徹底する。</li> </ul>
<p>■No. 24 企業進出による雇用の増(ペット用木質系排泄物処理剤製造施設整備事業)(日高村)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木質系処理剤の新商品の試作品完成(4月)</li> <li>・既存商品の生産は日量350～400ケースで推移</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の品質向上やコストダウンへの取り組みが重要 ⇒一定期間(1週間～10日)で生産方法等の試行とその検証に取り組んでいる。</li> </ul>

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 36 直販市を核とした観光資源の整備による交流人口の増と地域の活性化(日高村)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直販所「さんさん市」の施設整備計画の策定について、産業振興総合補助金(ステップアップ)を申請(6/27 地域本部審査、7/25 交付決定)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直販所の効果的な整備計画を策定する必要がある。 ⇒ステップアップ事業により専門家を交え事業計画の策定に取り組む。</li> </ul>
<p>■No. 37 屋形船を活用した拠点施設の整備による交流人口の増と地域の活性化(日高村)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(株)屋形船仁淀川が屋形船の運航を開始(5/6～) 利用者数 370名(7月末日現在)</li> <li>屋形船の発着場周辺の整備計画策定について観光拠点等整備事業費補助金を申請(6/13 地域観光課ヒアリング)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公衆トイレや販売施設等、屋形船発着場の周辺整備が必要 ⇒来年度に施設整備を計画</li> </ul>

2 平成24年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

- ・No.17「高岡日曜市の活性化などによる地域商業の振興」(土佐市)  
審査会(7月23日)、採択決定(8月1日)
- ・No.36「直販市を核とした観光資源の整備による交流人口の増と地域の活性化」(日高村) 地域本部審査(6月27日)、交付決定(7月25日)

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目  
該当なし

4 県民参画に向けた取組

- ・日高村行政連絡協議会で第2期計画の説明(4/22)
- ・越知町区長連合協議会春季総会で第2期計画の説明(4/27)
- ・土佐市商工会総会、日高村商工会総会で第2期計画の説明(5/23)
- ・いの町商工会総会で第2期計画の説明(5/25)
- ・越知町商工会総会で第2期計画の説明(5/29)
- ・商品開発を検討する企業への「土佐まるごとビジネスアカデミー」の紹介(1件)
- ・「土佐の産業おこし参加プラン」の市町村広報誌への掲載に向けた調整(流域全6市町村)

## 5 相談案件：6件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/14	新エネルギー	公共施設を活用した太陽光発電事業
2	4/16	加工製品	新商品開発に向けたウコンの栽培
3	4/19	紙製品	一次産品を活用した紙製品の開発
4	5/17	食品加工	ねぎを活用した加工製品の開発
5	5/22	食品加工	一次産品の産地と連携したドレッシング製造事業の展開
6	6/14、8/7	食品加工	土佐市内への生姜の加工場建設